

PIA HEIDENMARK COOK

Former CSO at IKEA Shares Learnings and Experiences from Doing A Sustainability Related Transformation Across The IKEA Value Chain

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- ESG
- Sustainability
- Women

ピア・ハイデンマルク・クックは、2018年にWBCSDによってサステナビリティ分野の女性リーダートップ10に選ばれ、Climate Groupによって気候変動アジェンダの影響を持つトップ5に選ばれ、さらに2020年にはTwitterの気候変動影響力を持つトップ100に選ばれました。

ピア・ハイデンマルク・クックは現在、ポートフォリオのキャリアを満喫しており、主にヨーロッパと北米で取締役会、顧問、基調講演の役割に時間を割いています。彼女は、ヘルスケア、材料イノベーション、レストラン、ホスピタリティ分野の営利および非営利組織の取締役会の非常勤取締役を務めています。彼女は、いくつかのプロフェッショナルサービスおよびプライベートエクイティ会社にサステナビリティに関してアドバイスを行っており、また、ケンブリッジ持続可能リーダーシップ研究所、INSEAD、ボードインパクトフォーラム、ESG/気候担当取締役会エグゼクティブなどで、サステナビリティとビジネス変革に関する頻繁な基調講演者/講師も務めています。研修のほか、社内イベントも多数開催。

ピアは、2017年から2021年までイケア/インカグループで最高サステナビリティ責任者(CSO)の役職を務め、退職後は上級顧問を務めました。ピアは2008年にイケアに入社し、同社でサステナビリティに関する上級職を複数歴任し、過去8年間は最大の事業部門であるエグゼクティブリテールマネジメントチームのメンバーでした。CSOを務めていた間、ピアはグローバルオフィスのサステナビリティ専門家チームを率い、また、ヨーロッパ、アジア太平洋、北米の30か国の小売、ショッピングセンター、顧客フルフィルメントビジネス全体に統合されたサステナビリティ専門家チームを率いました。

IKEAは、人と地球にポジティブなビジネスを目指す世界最大の家庭用家具小売業者です。2021年、IKEAの気候フットプリントの合計は、基準となる2016年度と比較して絶対量でCO2換算で約160万トン減少し、5.8%減少しました。一方、IKEAの売上高は過去の最高値を上回りました。これは、売上高が増加したにもかかわらず、3年連続で気候フットプリントが削減されたことを意味しており、イケアが2030年の気候変動に関するポジティブな目標を達成する軌道に乗っていることを意味します。

2017年までの数年間、ピアはEU委員会とともに小売業者環境行動プログラムであるREAPの共同議長を務めました。IKEAに入社する前は、ホテルブランドのラディソンブルーとパークイン(50か国以上、300以上のホテル)を運営するレジドールホテルグループで企業社会責任担当副社長を務めていました。この期間中、ピアはすべての主要な国際ホテルブランドの会員組織であるプリンスオブウェールズビジネスリーダーズフォーラムの観光部門の会長を務めました。

ピアは技術資格と修士号の両方を取得しています。スウェーデンのルンド大学で環境管理の学士号を取得し、修士号を取得しました。スウェーデンのウプサラ大学で国際経営学および経済学の博士号を取得。最近ではINSEADのインターナショナルディレクタープログラムで学位を取得しました。彼女はフランスとベルギーに住んでいましたが、現在はカナダ人の夫と2人の10代の娘とともにス

ウェーデン南部に住んでいます。

ピアは 1996 年以来、学界、コンサルティング会社、ビジネス全体にわたってCSR/持続可能性関連のテーマに取り組み、講演し、研究してきました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988